

## 【研究成果の発表に関する取扱い】(H29年度「取扱い手引」P11-12抜粋)

### (1) 研究成果の発表等に関する提出

交流における研究成果が新聞等のメディアで紹介された場合は、その写し等を振興会に提出してください。(提出された記事等については、必要な手続を行なったうえで、振興会のホームページに掲載する場合があります。)

### (2) 研究成果報告書等の活用、社会への成果公開

#### ① 学会誌等

交流を通じて得られた成果に基づいて作成された論文等を学会誌等に掲載する場合は、フォーサイト事業として交付された資金による研究であることを下記の例を参考に必ず記載してください。

なお、実施報告書の一部として提出いただく論文等のリスト(中間評価、事後評価の資料にもなります。)には、本事業名の謝辞が記載されたもののみが掲載の対象となりますのでご注意ください。

(例) 和文:

本研究は、独立行政法人日本学術振興会の「日中韓フォーサイト事業」の助成を得た。

英文:

This work was supported by JSPS A3 Foresight Program.

#### ② 新聞等

交流による研究の成果を新聞・雑誌等に発表する場合(研究期間の終了後を含みます。)には、下記の例を参考に、発表用資料に振興会からフォーサイト事業として交付された資金による研究であることを必ず明らかにしてください。

(例) ○○大学の×××教授らのグループでは、独立行政法人日本学術振興会

「日中韓フォーサイト事業」の成果として△△△△であることを明らかにした。

#### ③ 学会発表等

学会や講演会で研究成果を発表する際には、フォーサイト事業として交付された資金による成果であることに触れ、プロシーディングや発表資料などにも上記①の例にならって必ず記載してください。(発表用のスライドやポスター等、謝辞を載せるスペースがない場合は、事業名と本会または本事業のロゴマークの記載のみでかまいません。事業名は必ず記載してください。)

なお、実施報告書の一部として提出いただく学会発表等のリスト(中間評価、事後評価の資料にもなります。)には、本事業名の謝辞等(事業名とロゴマークの記載を含む)が記載されたもののみが掲載の対象となりますのでご注意ください。

## 【年度末の研究成果発表リスト提出に際しての注意事項】

- ・ この交流の成果であり、研究代表者あるいは参加研究者により、当該年度に発表された本事業名が明記されているもののみを記載してください。
  - ・ 研究代表者、参加研究者（相手国を含む）の氏名にはアンダーラインを付してください。
  - ・ 「査読」の有無を記載してください。
- (1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書
- ・ 査読がある場合、印刷済み及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除いてください。
- (2) 国際会議における発表
- ・ 著者名（参加研究者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること）、発表題名、発表した学会名、開催場所、論文等の番号、発表年月日等を記載してください。発表者に○印を付してください。
  - ・ 「査読」の有無を記載してください。
  - ・ アブストラクト等に謝辞を記載するスペースがない等の理由で、本事業への謝辞の記載がない場合でも、本事業名と本会または本事業ロゴマークの記載があり、本事業の支援を受けた成果であることが明白である場合（事業名は必ず記載してください）は、リストに記載してください。
- (3) 国内学会・シンポジウム等における発表
- ・ (2)と同様に記載してください。